平成26年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年８月５日

上場会社名　　レシップホールディングス株式会社　　上場取引所　東・名
コード番号　　7213　　ＵＲＬ　http://www.lecip.co.jp/hd/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）杉本　眞
問合せ先責任者　（役職名）執行役員管理本部長　　（氏名）品川　典弘　　ＴＥＬ　058-324-3121
四半期報告書提出予定日　　平成25年８月13日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切り捨て）

１．平成26年３月期第１四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第１四半期	2,258	△1.1	△300	－	△292	－	△225	－
25年３月期第１四半期	2,282	15.2	△239	－	△240	－	△172	－

（注）包括利益　　26年３月期第１四半期　　△231百万円（－%）　　25年３月期第１四半期　　△186百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第１四半期	△41.52	－
25年３月期第１四半期	△26.92	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年３月期第１四半期	8,234	4,441	53.9	818.60
25年３月期	9,791	4,755	48.6	877.37

（参考）自己資本　　26年３月期第１四半期　　4,441百万円　　25年３月期　　4,755百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	－	0.00	－	15.00	15.00
26年３月期	－				
26年３月期（予想）		0.00	－	15.00	15.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	5,600	5.5	△435	－	△430	－	△290	－	△53.50
通期	15,100	12.0	380	△20.3	400	△24.0	230	△21.2	42.43

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無
②　①以外の会計方針の変更　：　無
③　会計上の見積りの変更　：　無
④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期１Ｑ	6,399,100株	25年３月期	6,399,100株
②　期末自己株式数	26年３月期１Ｑ	973,970株	25年３月期	978,970株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期１Ｑ	5,422,956株	25年３月期１Ｑ	6,390,143株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
(継続企業の前提に関する注記) …… 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) …… 8
(セグメント情報等) …… 8
(重要な後発事象) …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和や緊急経済対策の実施、また米国経済の回復などが追い風となり、景気回復に向けた明るい兆しが見えてまいりました。

このような状況のなか、当社グループにおきましては、新中期経営計画【+1=2015（プラスワン2015）（2013～2015年度）】の共通課題である「TMS事業をAFC事業と並ぶ二つ目の柱にする」「次世代機器・システムの商品企画と拡販」「海外パートナーシップの強化と戦略商品の創造」「国内外でのLED商品の拡販」「システム改善に向けたQCDの向上」に向けた取り組みに注力してまいりました。

当第１四半期連結累計期間におきましては、輸送機器事業は増収となりましたものの、産業機器事業が減収となりましたことなどにより、売上高は22億58百万円（前年同期比1.1%減）と前年とほぼ同水準となりました。

また損益面につきましては、当社グループは年間売上の多くが第４四半期に集中する傾向がありますことから、営業損失は3億円（前年同期は2億39百万円の営業損失）、経常損失は2億92百万円（前年同期は2億40百万円の経常損失）、四半期純損失は2億25百万円（前年同期は1億72百万円の四半期純損失）となりましたが、営業成績としてはほぼ計画どおりに進捗しております。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

（輸送機器事業）

当事業の売上高は12億10百万円（前年同期比12.8%増）、営業損失は2億59百万円（前年同期は2億66百万円の営業損失）となりました。

市場別の売上高は、バス市場向け製品が8億39百万円（前年同期比19.7%増）、鉄道市場向け製品が1億46百万円（同比31.8%減）、自動車市場向け製品が2億24百万円（同比43.0%増）となりました。

バス市場向け製品は、車載用液晶表示器OBCが好調に推移いたしましたほか、自動車市場向け製品についてもLED灯具が好調に推移いたしましたことにより増収となりました。

一方、鉄道市場向け製品については、列車用灯具の減少により減収となりました。

損益面では、ほぼ前年と同水準で推移いたしました。

（Ｓ＆Ｄ事業）

当事業の売上高は2億21百万円（前年同期比2.2%増）、営業損失は6百万円（前年同期は6百万円の営業損失）となりました。

売上面では、前期まで売上を伸ばしておりましたLED電源が、販売方針の変更によりターゲット市場を一般照明市場から当社の強みが活かせる特殊市場へシフトいたしましたため減収となりましたが、屋外蛍光灯看板用電子安定器など他の製品でカバーし、ほぼ前年並みとなりました。

損益面では、ほぼ前年と同水準で推移いたしました。

（産業機器事業）

当事業の売上高は8億15百万円（前年同期比16.9%減）、営業損失は23百万円（前年同期は45百万円の営業利益）となりました。

売上面では、プリント基板実装業におきまして、産業機械用インバータ基板が中国FA市場の減速により減少いたしましたほか、震災復興需要の収束により、PHS基地局向け電源等が減少いたしましたことにより減収となりました。

損益面では、主に減収の影響により、営業損失を計上することとなりました。

（その他）

当事業の売上高は11百万円、営業利益は3百万円となりました。事業の内容は、レシップホールディングス株式会社による不動産賃貸業であります。

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期末の資産は82億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億56百万円減少いたしました。流動資産は60億74百万円と15億53百万円減少いたしました。減少した主なものは、受取手形及び売掛金で、その減少額は20億47百万円であります。負債は、前連結会計年度末に比べ12億42百万円減少し37億93百万円となりました。流動負債は33億45百万円と12億62百万円減少いたしました。主なものは短期借入金が7億30百万円、支払手形及び買掛金が3億14百万円、それぞれ減少したことによるものです。純資産は、前連結会計年度末に比べ3億14百万円減少いたしました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の48.6％から53.9％となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期予想につきましては、平成25年5月10日の決算短信で発表しました業績予想からの変更はございません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	704,026	674,718
受取手形及び売掛金	4,760,412	2,712,596
商品及び製品	411,047	449,535
仕掛品	424,525	630,241
原材料及び貯蔵品	610,843	671,373
その他	766,280	989,729
貸倒引当金	△48,805	△53,371
流動資産合計	7,628,331	6,074,824
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,050,168	1,032,470
その他（純額）	353,405	387,864
有形固定資産合計	1,403,574	1,420,335
無形固定資産	176,966	177,960
投資その他の資産		
投資有価証券	313,500	299,615
その他	326,146	318,796
貸倒引当金	△57,150	△57,150
投資その他の資産合計	582,496	561,262
固定資産合計	2,163,036	2,159,558
資産合計	9,791,368	8,234,382
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,183,220	1,868,597
短期借入金	750,000	20,000
１年内返済予定の長期借入金	226,135	170,798
未払法人税等	86,252	15,820
賞与引当金	316,047	126,673
役員賞与引当金	22,369	－
製品保証引当金	58,714	59,078
その他	965,153	1,084,847
流動負債合計	4,607,892	3,345,814
固定負債		
長期借入金	155,800	152,000
退職給付引当金	17,000	18,350
その他	255,204	277,198
固定負債合計	428,004	447,548
負債合計	5,035,896	3,793,363

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	735,645	735,645
資本剰余金	719,406	719,406
利益剰余金	4,039,465	3,727,749
自己株式	△771,792	△767,887
株主資本合計	4,722,724	4,414,913
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,084	44,852
為替換算調整勘定	△15,336	△18,746
その他の包括利益累計額合計	32,747	26,105
純資産合計	4,755,471	4,441,019
負債純資産合計	9,791,368	8,234,382

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	2,282,209	2,258,043
売上原価	1,917,497	1,861,503
売上総利益	364,711	396,539
販売費及び一般管理費	603,880	697,316
営業損失（△）	△239,168	△300,776
営業外収益		
受取利息	26	10
受取配当金	1,488	1,509
為替差益	－	6,631
作業くず売却益	2,560	1,370
その他	2,762	1,743
営業外収益合計	6,839	11,265
営業外費用		
支払利息	2,307	2,315
債権売却損	116	161
為替差損	5,614	－
その他	1	488
営業外費用合計	8,039	2,966
経常損失（△）	△240,368	△292,477
特別損失		
固定資産廃棄損	547	364
投資有価証券評価損	973	－
投資有価証券売却損	－	3,350
特別損失合計	1,520	3,714
税金等調整前四半期純損失（△）	△241,888	△296,192
法人税、住民税及び事業税	5,252	4,086
法人税等調整額	△75,101	△75,137
法人税等合計	△69,848	△71,051
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△172,040	△225,141
四半期純損失（△）	△172,040	△225,141

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△172,040	△225,141
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,613	△3,231
為替換算調整勘定	△2,859	△3,409
その他の包括利益合計	△14,473	△6,641
四半期包括利益	△186,513	△231,782
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△186,513	△231,782
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他（千円）（注）	合計（千円）
	輸送機器事業（千円）	Ｓ＆Ｄ事業（千円）	産業機器事業（千円）	計（千円）		
売上高						
外部顧客への売上高	1,073,256	216,443	981,328	2,271,029	11,180	2,282,209
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	1,073,256	216,443	981,328	2,271,029	11,180	2,282,209
セグメント利益又は損失（△）	△266,015	△6,973	45,189	△227,799	2,772	△225,027

（注）「その他」の区分は、不動産賃貸事業であります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（千円）
報告セグメント計	△227,799
「その他」の区分の利益	2,772
全社費用（注）	△14,140
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△239,168

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる費用であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自平成25年４月１日　至平成25年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他（千円）（注）	合計（千円）
	輸送機器事業（千円）	Ｓ＆Ｄ事業（千円）	産業機器事業（千円）	計（千円）		
売上高						
外部顧客への売上高	1,210,269	221,286	815,306	2,246,863	11,180	2,258,043
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	1,210,269	221,286	815,306	2,246,863	11,180	2,258,043
セグメント利益又は損失（△）	△259,903	△6,433	△23,696	△290,033	3,302	△286,731

（注）「その他」の区分は、不動産賃貸事業であります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（千円）
報告セグメント計	△290,033
「その他」の区分の利益	3,302
全社費用（注）	△14,045
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△300,776

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる費用であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

当社は、平成25年８月１日開催の取締役会において、スウェーデンに本社を置く、バス・トラム向けの非接触W/R（リーダーライター）、端末機、またそれに関わるソフトウェアのプラットフォームの設計・開発事業を営むArcontia International AB（以下、「AIAB」）の株式を取得することを決議し、株式売買契約を締結いたしました。

１　株式取得の目的

当社は日本国内におけるバス運賃収受システムを開発・製造・販売するトップ企業として各地で、サービスを展開してまいりました。昨年、米国でバス運賃収受システムを複数受注し、先般、シンガポールでもシステム受注をするなど、海外での事業強化を図っております。

今回、子会社化するAIABは、欧米で主流となる、非接触ICカードのA・Bタイプの開発・販売を手掛け、海外事業強化を図る当社との相乗効果が期待されます。また、メキシコに販売拠点を持ち、欧米での同社の販売ルートも当社の関与により、大きな成長が期待できるものと考えております。

２　株式取得対象会社の概要

（１）名称　Arcontia International AB

（２）事業内容　バス・トラム向けの非接触W/R、端末機、またそれに関わるソフトウェアのプラットフォームの設計・開発

（３）資本金　50,000スウェーデンクローナ

３　取得の相手方

（１）名称	Aveqo Venture AB	Hofvarpner AB
（２）所在地	Gothenburg, Sweden	Nol, Sweden
（３）代表者	Magnus Stahlberg	Olaf Henrixon

４　株式取得の時期

平成25年８月22日（予定）

５　取得する株式の数、取得価額及び取得後の議決権比率

（１）取得株式数　500株

（２）取得株式の価額　7,500千米国ドル（約７億43百万円）（本年７月31日付の換算レート１米国ドル＝99.08円で計算しております。）

（３）取得後の議決権比率　100%

６　資金調達方法

金融機関からの借入を予定しております。